

① シンポジウム参考資料

歴代宝案』校訂本全 15 冊刊行記念シンポジウム 琉球王国の外交文書—歴代宝案への誘い^{いざな}

14:00 開会のあいさつ 平敷昭人（沖縄県教育委員会教育長）

◆ 第 1 部 基調講演 14:05 ～ 15:00

14:05 ～ 14:30 田名真之 『歴代宝案』の編集とその意味

14:35 ～ 15:00 生田 滋 「ビッグデータ」としての『歴代宝案』
～『歴代宝案』と古琉球史～

（休 憩）

◆ 第 2 部 パネルディスカッション 15:15 ～ 16:45

コーディネーター

高良倉吉（琉球大学名誉教授、沖縄県歴代宝案編集委員会委員）

パネリスト

赤嶺 守（琉球大学教授）

（沖縄県歴代宝案編集委員会委員、訳注本第 6 冊担当）

生田 滋（大東文化大学名誉教授）

（沖縄県歴代宝案編集委員会委員、校訂本第 5 冊担当）

金城正篤（琉球大学名誉教授）

（沖縄県歴代宝案編集委員会委員長、校訂本第 9・10 冊担当）

田名真之（沖縄県立博物館・美術館館長）

（沖縄県歴代宝案編集委員会委員、訳注本第 4 冊担当）

西里喜行（琉球大学名誉教授）

（沖縄県歴代宝案編集委員会委員、校訂本第 13・14・15 冊担当）

濱下武志（龍谷大学客員研究員）

（沖縄県歴代宝案編集委員会副委員長、校訂本第 7・8 冊担当）

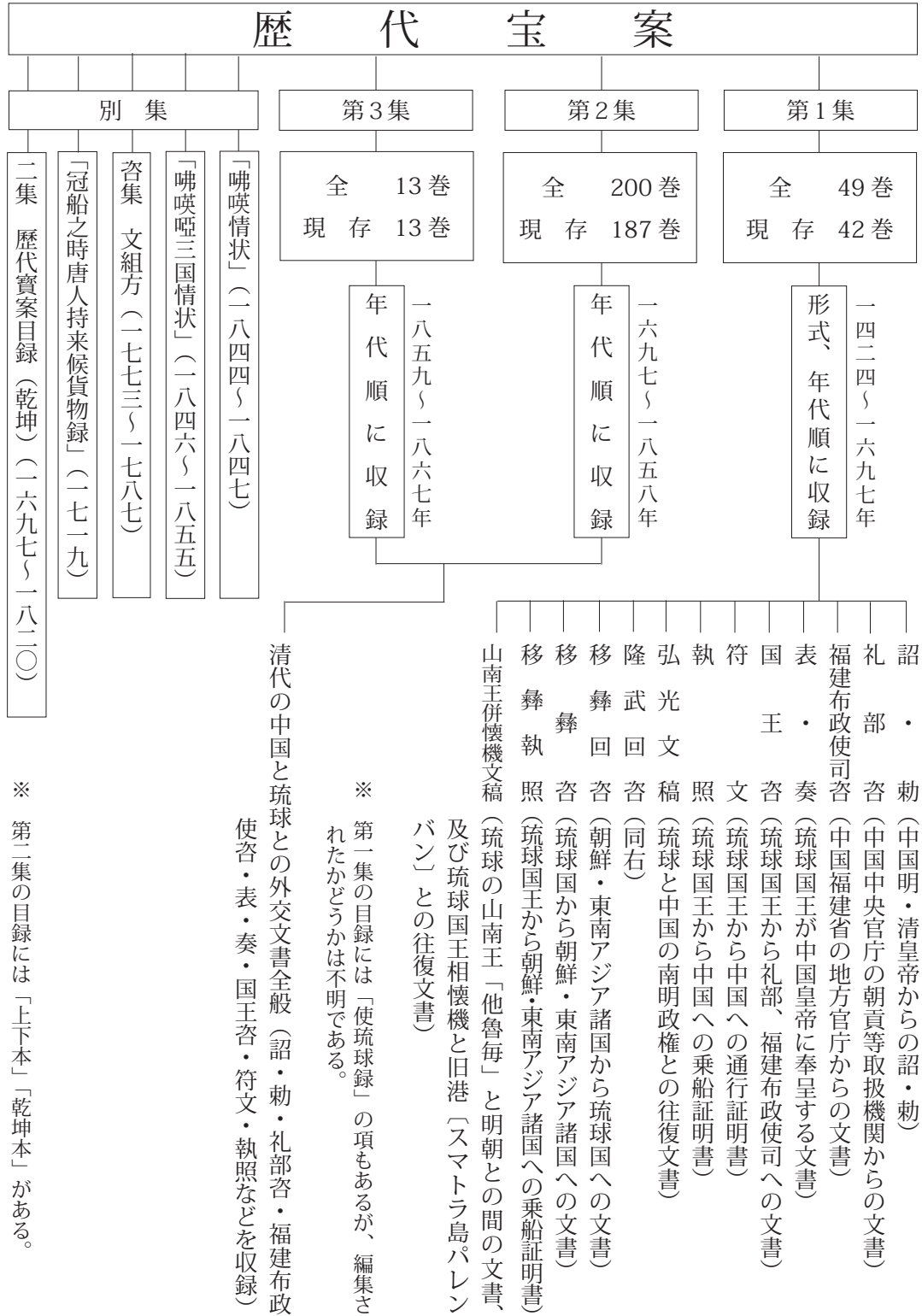
17:00 閉会

日時：2017 年 7 月 8 日（土）14:00 ～ 17:00

場所：沖縄県公文書館 講堂

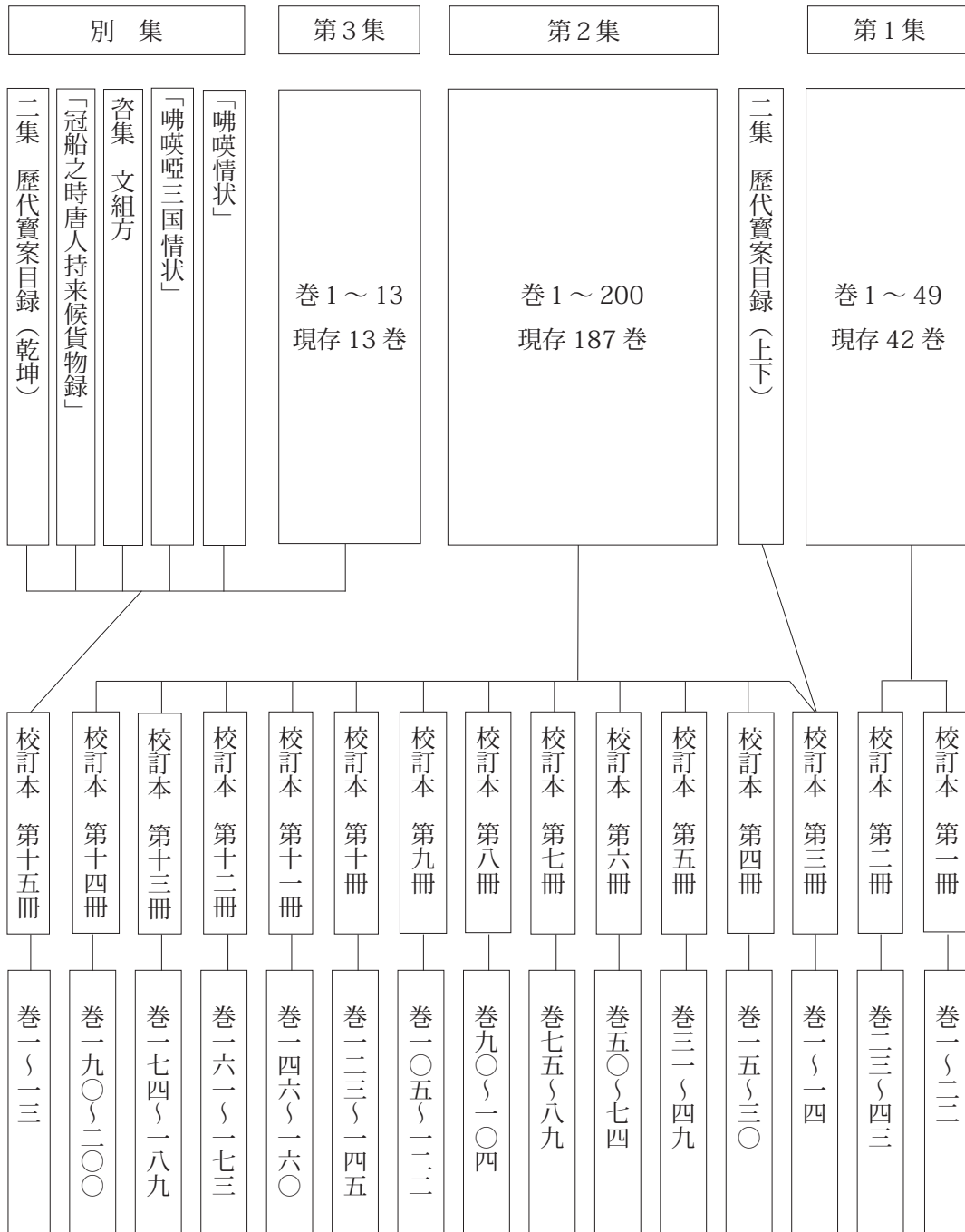
主催：沖縄県教育委員会

『歴代宝案』の収録文書

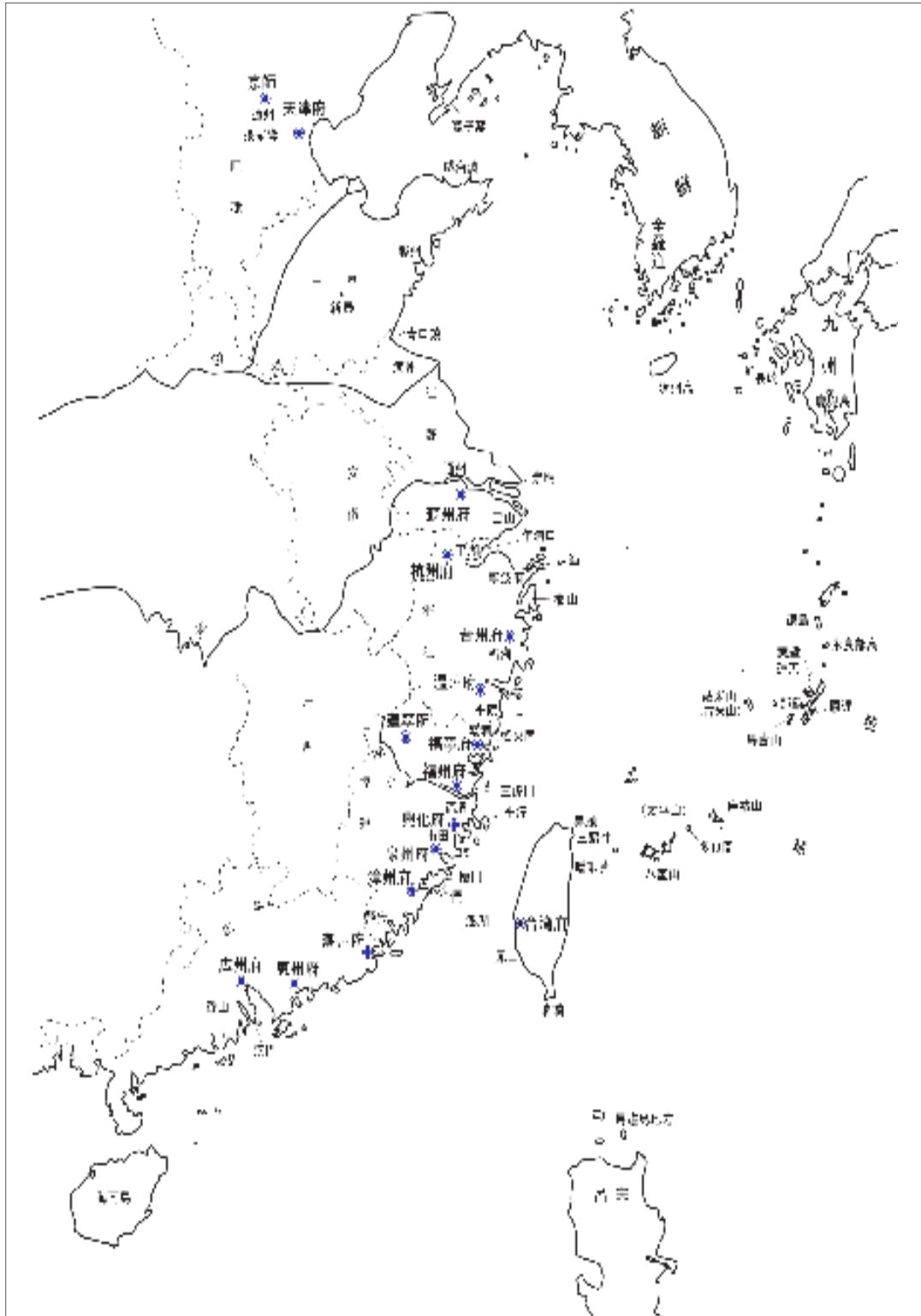


※ 第二集の目録には「上下本」「乾坤本」がある。

『歴代宝案』の構成と校訂本の関係



歴代宝案関連地図



琉球国王・中国皇帝（明清）一覽表

琉球国中山王（第一尚氏王統）

代	王名	在位年代	冊封年・冊封使
1	思紹	永樂 4 (1406)－永樂 19(1421)	
2	尚巴志	永樂 20(1422)－正統 4 (1439)	洪熙元 (1425) 柴山
3	尚忠	正統 5 (1440)－正統 9 (1444)	正統 8 (1443) 余忭・劉遜
4	尚思達	正統 10(1445)－正統 14(1449)	正統 13(1448) 陳傳・萬祥
5	尚金福	景泰元 (1450)－景泰 4 (1453)	景泰 3 (1452) 喬毅・童守宏
6	尚泰久	景泰 5 (1454)－天順 4 (1460)	景泰 7 (1456) 嚴誠・劉儉
7	尚德	天順 5 (1461)－成化 5 (1469)	天順 7 (1463) 潘榮・蔡哲

琉球国中山王（第二尚氏王統）

代	王名	在位年代	冊封年・冊封使
1	尚円	成化 6 (1470)－成化 12(1476)	成化 8 (1472) 官榮・韓文
2	尚宣威	成化 13(1477)	
3	尚真	成化 13(1477)－嘉靖 5 (1526)	成化 15(1479) 董旻・張祥
4	尚清	嘉靖 6 (1527)－嘉靖 34(1555)	嘉靖 13(1534) 陳侃・高澄
5	尚元	嘉靖 35(1556)－隆慶 6 (1572)	嘉靖 41(1562) 郭汝霖・李際春
6	尚永	万曆元 (1573)－万曆 16(1588)	万曆 7 (1579) 蕭崇業・謝杰
7	尚寧	万曆 17(1589)－泰昌元 (1620)	万曆 34(1606) 夏子陽・王士禎
8	尚豊	天啓元 (1621)－崇禎 13(1640)	崇禎 6 (1633) 杜三策・楊掄
9	尚賢	崇禎 14(1641)－順治 4 (1647)	
10	尚質	順治 5 (1648)－康熙 7 (1668)	康熙 2 (1663) 張學禮・王垓
11	尚貞	康熙 8 (1669)－康熙 48(1709)	康熙 22(1683) 汪楫・林麟焄
12	尚益	康熙 49(1710)－康熙 51(1712)	
13	尚敬	康熙 52(1713)－乾隆 16(1751)	康熙 58(1719) 海宝・徐葆光
14	尚穆	乾隆 17(1752)－乾隆 59(1794)	乾隆 21(1756) 全魁・周煌
15	尚温	乾隆 60(1795)－嘉慶 7 (1802)	嘉慶 5 (1800) 趙文楷・李鼎元
16	尚成	嘉慶 8 (1803)	
17	尚灝	嘉慶 9 (1804)－道光 14(1834)	嘉慶 13(1808) 齊鯤・費錫章
18	尚育	道光 15(1835)－道光 27(1847)	道光 18(1838) 林鴻年・高人鑑
19	尚泰	道光 28(1848)－同治 11(1872)	同治 5 (1866) 趙新・于光甲

中国皇帝（明代）

代	廟号 通称	在位年代
1	太祖 洪武帝	洪武元 (1368)－洪武 31(1398)
2	惠宗 建文帝	建文元 (1399)－建文 4 (1402)
3	成祖 永樂帝	永樂元 (1403)－永樂 22(1424)
4	仁宗 洪熙帝	洪熙元 (1425)
5	宣宗 宣德帝	宣德元 (1426)－宣德 10(1435)
6	英宗 正統帝	正統元 (1436)－正統 14(1449)
7	代宗 景泰帝	景泰元 (1450)－景泰 7 (1456)
8	英宗 天順帝	天順元 (1457)－天順 8 (1464)
9	憲宗 成化帝	成化元 (1465)－成化 23(1487)
10	孝宗 弘治帝	弘治元 (1488)－弘治 18(1505)
11	武宗 正德帝	正德元 (1506)－正德 16(1521)
12	世宗 嘉靖帝	嘉靖元 (1522)－嘉靖 45(1566)
13	穆宗 隆慶帝	隆慶元 (1567)－隆慶 6 (1572)
14	神宗 万曆帝	万曆元 (1573)－万曆 47(1619)
15	光宗 泰昌帝	泰昌元 (1620)
16	熹宗 天啓帝	天啓元 (1621)－天啓 7 (1627)
17	毅宗 崇禎帝	崇禎元 (1628)－崇禎 17(1644)

中国皇帝（清代）

代	廟号 通称	在位年代
1	太祖 (努爾哈赤)	天命元 (1616)－天命 11(1626)
2	太宗 (皇太極)	天命 11(1626)－崇德 8 (1643)
3	世祖 順治帝	崇德 8 (1643)－順治 18(1661)
4	聖祖 康熙帝	順治 18(1661)－康熙 61(1722)
5	世宗 雍正帝	康熙 61(1722)－雍正 13(1735)
6	高宗 乾隆帝	雍正 13(1735)－乾隆 60(1795)
7	仁宗 嘉慶帝	嘉慶元 (1796)－嘉慶 25(1820)
8	宣宗 道光帝	嘉慶 25(1820)－道光 30(1850)
9	文宗 咸豐帝	道光 30(1850)－咸豐 11(1861)
10	穆宗 同治帝	咸豐 11(1861)－同治 13(1874)
11	德宗 光緒帝	同治 13(1874)－光緒 34(1908)
12	宣統帝	光緒 34(1908)－宣統 3 (1911)

歴代宝案関連年表

西 暦	主なできごと（琉球・中国・日本）	歴代宝案編集関係	歴代宝案収録範囲
1372	中山王察度が初めて明に入貢		
1419	中山王思紹、暹羅（シヤム）に遣船		
1429	三山統一		1424 永楽帝崩御の勅諭 （宝案最初の記録）
1531	「おもろさうし」巻1の編集		
1609	島津の侵攻		
1644	明朝滅び清朝が建つ		
1650	羽地朝秀（向象賢）、「中山世鑑」を著す		
1661	南明政権倒れる		
1673	久米村に孔子廟を創建		
1689	首里王府に系図座を設置		
1697		蔡鐸らによる歴代宝案第一次編集	
1701	蔡鐸が「中山世譜」を著す		
1713	「琉球国由来記」を編集		
1725	蔡温が「中山世譜」を改訂、以後編集継続（～1876）		
1729		程順則らによる第二次編集、その後も編集継続	
1731	鄭秉哲ら「琉球国旧記」を編集		
1745	鄭秉哲ら「球陽」を編集、以後編集継続（～1876）		
1814		このころ鄭良弼本成立か	
1846	英宣教師ベッテルハイムの来流		
1853	米ペリー艦隊が那覇に来航		
1854	琉米修好条約		
1866	尚泰、最後の冊封を受ける		
1867	大政奉還	このころ最後の編集がなされたか	1867の接頁関連記録 （宝案最後の記録）
1879	沖縄県設置	王府保管本、旧沖縄県庁より東京・内務省へ移管 →関東大震災で焼失か	
1923		天妃宮保管本、久米村の神村家から天尊廟へ移される	
1931		12月～翌1月初 東恩納寛惇が筆写（東恩納筆写本）	
1932		8月 鎌倉芳太郎による写真撮影（鎌倉本）	
1933		11月 県立図書館へ移管、副本作成（旧県立図書館本）	
1934		（または1935）東恩納寛惇による写真撮影（東恩納影印本）	
1935		旧台北帝国大学小葉田淳氏依頼で写本作成（台湾大学蔵写本）	
1941		東京大学史料編纂所依頼で写本作成（東京大学蔵写本）	
1945	沖縄戦	旧県立図書館本焼失	
1972	本土復帰	台湾大学蔵『歴代宝案』影印本出版	
1986		『那覇市史』資料篇（歴代宝案第一集抄）刊行	
1989		沖縄県教育委員会による歴代宝案編集事業開始	
1992		『歴代宝案』校訂本第1・2冊刊行	
1993		『歴代宝案』校訂本第3・4冊刊行	1994 訳注本第1冊刊行
1994		『歴代宝案』校訂本第7冊刊行	
1995		『歴代宝案』校訂本第11冊刊行	1997 訳注本第2冊刊行
1996		『歴代宝案』校訂本第5・13冊刊行	1998 訳注本第3冊刊行
1999		『歴代宝案』校訂本第8冊刊行	2002 訳注本第13冊刊行
2000		『歴代宝案』校訂本第12冊刊行	2005 訳注本第11冊刊行
2003		『歴代宝案』校訂本第9冊刊行	2009 訳注本第7冊刊行
2006		『歴代宝案』校訂本第6冊刊行	2013 訳注本第5冊刊行
2012		『歴代宝案』校訂本第14冊刊行	2015 訳注本第12冊刊行
2014		『歴代宝案』校訂本第10冊刊行	2016 訳注本第9冊刊行
2016		『歴代宝案』校訂本第15冊刊行 （全15冊完結）	2017 訳注本第4冊刊行 （未刊5冊）

444年間

『歴代宝案』校訂本全 15 冊 校訂者・刊行年

冊数	収録巻	収録年代（西暦）	校訂者	校訂協力者	発行年月	
第 1 冊	第 1 集巻 1 ～ 22	永楽 22 ～ 康熙 36 (1424 ～ 1697)	和田 久徳	高瀬恭子 内田晶子 和田正彦	平成 4 年 1 月 (1992)	
第 2 冊	第 1 集巻 23 ～ 43	宣徳 1 ～ 康熙 35 (1426 ～ 1696)	和田 久徳	高瀬恭子 内田晶子 和田正彦	平成 4 年 3 月 (1992)	
第 3 冊	二集 歴代宝案目録 (上下)	康熙 36 ～ 咸豊 8 (1697 ～ 1858)	神田 信夫	渡辺修 宮田道昭	平成 5 年 1 月 (1993)	
	第 2 集巻 1 ～ 14	康熙 36 ～ 雍正 3 (1697 ～ 1725)				
第 4 冊	第 2 集巻 15 ～ 30	雍正 3 ～ 乾隆 14 (1725 ～ 1749)	神田 信夫	渡辺修 宮田道昭	平成 5 年 3 月 (1993)	
第 5 冊	第 2 集巻 31 ～ 49	乾隆 15 ～ 乾隆 30 (1750 ～ 1765)	生田 滋	—	平成 8 年 3 月 (1996)	
第 6 冊	第 2 集巻 50 ～ 74	乾隆 31 ～ 乾隆 54 (1766 ～ 1789)	糸数 兼治	—	平成 18 年 9 月 (2006)	
第 7 冊	第 2 集巻 75 ～ 89	乾隆 53 ～ 嘉慶 4 (1788 ～ 1799)	濱下 武志	林正子 飯島涉 茂木敏夫 黨武彦 古市大輔	平成 6 年 2 月 (1994)	
第 8 冊	第 2 集巻 90 ～ 104	嘉慶 4 ～ 嘉慶 13 (1799 ～ 1808)	濱下 武志	古市大輔 黨武彦 林正子	平成 11 年 3 月 (1999)	
第 9 冊	第 2 集巻 105 ～ 122	嘉慶 13 ～ 嘉慶 22 (1808 ～ 1817)	金城 正篤	上江洲安亨 野村直美 野原千明 田中千夏 名嘉正八郎	平成 15 年 9 月 (2003)	
第 10 冊	第 2 集巻 123 ～ 145	嘉慶 21 ～ 道光 7 (1816 ～ 1827)	金城 正篤	富田千夏	平成 26 年 1 月 (2014)	
第 11 冊	第 2 集巻 146 ～ 160	道光 6 ～ 道光 15 (1826 ～ 1835)	小島 晋治	並木頼寿 栗原純 白川知多	平成 7 年 3 月 (1995)	
第 12 冊	第 2 集巻 161 ～ 173	道光 15 ～ 道光 21 (1835 ～ 1841)	小島 晋治	—	平成 12 年 7 月 (2000)	
第 13 冊	第 2 集巻 174 ～ 189	道光 21 ～ 道光 30 (1841 ～ 1850)	西里 喜行	赤嶺守 上里賢一 豊見山和行	平成 8 年 3 月 (1996)	
第 14 冊	第 2 集巻 190 ～ 200	道光 30 ～ 咸豊 8 (1850 ～ 1858)	西里 喜行	赤嶺守 上里賢一 豊見山和行	平成 24 年 10 月 (2012)	
第 15 冊	第 3 集巻 1 ～ 13	咸豊 9 ～ 同治 6 (1859 ～ 1867)	西里 喜行	赤嶺守 麻生伸一 前田舟子 山田浩世	平成 28 年 12 月 (2016)	
	別	呷嘆情狀				道光 24 ～ 道光 27 (1844 ～ 1847)
		呷嘆啞三國情狀				道光 26 ～ 咸豊 5 (1846 ～ 1855)
		咨集 文組方				乾隆 38 ～ 49 (1773 ～ 1784)
	集	冠船之時唐人持 来候貨物録				康熙 58 (1719)
	二集 歴代宝案 目録 (乾坤)	康熙 36 ～ 嘉慶 25 (1697 ～ 1820)				

② 『歴代宝案』校訂本担当者一覧



和田久徳
『歴代宝案』校訂本第1冊・第2冊担当
歴代宝案編集委員第1～4期
(1989～1997)



神田信夫
『歴代宝案』校訂本第3冊・第4冊担当
歴代宝案編集委員第2～8期
(1991～2003)



濱下武志
『歴代宝案』校訂本第7冊・第8冊担当
歴代宝案編集委員第1～15期
(1989～現在)



小島晋治
『歴代宝案』校訂本第11冊・第12冊担当
歴代宝案編集委員第1～14期
(1989～2017)



生田滋
『歴代宝案』校訂本第5冊担当
歴代宝案編集委員第1～15期
(1989～現在)



西里喜行
『歴代宝案』校訂本第13冊・第14冊・
第15冊担当
歴代宝案編集委員第1～15期
(1989～現在)



金城正篤
『歴代宝案』校訂本第9冊・第10冊担当
歴代宝案編集委員第1～15期
(1989～現在)



糸数兼治
『歴代宝案』校訂本第6冊担当
歴代宝案編集委員第5～9期、
12～13期
(1993～2007、2011～2015)